

# 軽井沢新聞

2月号

February 2021



編集局 Tel.0267-46-3001 Fax.0267-46-3880  
〒389-0111 長野県軽井沢町長倉 2380-27

身近な情報を編集局までお寄せ下さい ● E-mail info@karuizawa.co.jp  
広告に関するお問い合わせ ● 株式会社アドエイド Tel.0267-46-0055

## 軽井沢人物語



恵泉女学園大学副学長

岩村 太郎 さん

「立ち止まる勇氣」

杉原千畝の精神、今の時代にも

第二次世界大戦中、ナチス・ドイツの迫害から逃れたユダヤ人難民にビザを発給し、約6000人の命を救った外交官、杉原千畝の研究を続ける。外務省が公にせず、本人も多くを語らなかったため、杉原の名が日本で知られるようになるのは1980年代以降。戦後すぐに正しく評価されていたら「ノーベル平和賞の受賞も、おかしくなかった」。杉原の決断を「立ち止まる勇氣」という言葉でたたえる。

「ナチスに真正面から逆らったわけではないんです。杉原は。他の人が同じ方向へ流されているときに、一人踏みとどまって正義を貫いた。今の時代にも必要とされる行動ですよ」

キリスト教倫理学や哲学が専門。2018年に出版した『10歳の君に贈る、心を強くする26の言葉』は、子どもの抱える悩みや疑問に、過去の哲学者の言葉を紹介しながら答えた一冊。中国語にも翻訳され、現地での発売が決まっている。出版社に勤める教え子から、企画を持ち掛けられたのが始まりだった。

「すごく嬉しかったですよ。売れようと売れなかりと、非常に誇らしい仕事になりましたね」

「人間はどこまで自由か」「男女間の友情は成立するか」といった、永遠に答えが出ないような問いでも、考え抜くことの大切さを学生に説いている。

「(大学入試のような)選択肢の中から正しい答えを選ぶ能力も大事だけど、人生ってそれだけじゃない。考えることをやめたら、人間はどんな機械のようになって、魅力を失ってしまう」

幼少期から夏を過ごした軽井沢には、思い出がいっぱい。ずっと貸別荘ぐらしで、「いつかは自分の家を」と思い続け10数年前に実現。週末を中心に春～秋に訪れる。中学3年から続けるアルトサックスは、忘れずに持参する。

「隣りと離れているし、思いきり吹けるんですよ。息子がピアノを弾くから、一緒に合わせたりね。まだまだ上手になりたいです」

1955年生まれ。祖父、父ともに牧師で、哲学やキリスト教を学ぶことは、幼い頃から生活の一部だった。新型コロナの影響で、この一年は学校対応の協議に追われたが「どんなに忙しくても、心のゆとりは持っているようにしたいですね」。

## 佐久圏域の医療逼迫、公共施設など休業 感染警戒レベル「5」に

新型コロナウイルス新規陽性者数の増加を受け、佐久圏域(佐久市、軽井沢町、御代田町)は1月11日、感染状況を6段階で示す県独自の警戒レベルが「5」(感染が顕著に拡大している状態)に引き上げられた。佐久圏域の受け入れ可能病床数に対する入院者の割合は一時、8割を超える状態だった。中軽井沢図書館や、風越公園の運動施設など、町内の公共施設も休業(25日以降は通常営業)した。

その後、新規陽性者数は減少に転じ、レベルは24日「4」、29日「3」に下がり、2月4日現在も継続している。全県に1月14日、発出した「医療非常事態宣言」も2月3日に

10都府県では緊急事態宣言が続き、オフシーズンとはいえ、1月の軽井沢の入り込みは例年より大幅に少なく、物産販売店のオーナーは「都心の人が動けない状態だと、軽井沢の場合はなかなか厳しい」と漏らした。軽井沢町では12(1月)に33例(累計45例)の新規陽性者を確認している。

## 3団体が別荘地の環境維持を要望

## 「良質な軽井沢の別荘地宣言」

軽井沢文化協会、軽井沢別荘団体連合会、軽井沢自然景観会議の3団体が12月10日、「良質な軽井沢の別荘地」宣言を発表し、藤巻進町長に提出した。

宣言では、近年のオーバーツーリズムに伴う渋滞や移住者増加による緑地減少・住宅

団地化など、急激な変化による自然環境から動植物を守り、別荘地の伝統や品格を次世代へつなげる必要があるとし、事業者への適切な指導を町に求めた。同時に、旧軽井沢の景観を守るために歴史保存地区とする進言も行った。これを受け、藤巻町長は地方都市

の過疎化が進む中、軽井沢の人口増加は喜ばしいとし、「その受け皿として今まで林だったところに家が建ち並ぶのは必然。団体の関係者からは「人口が増えても緑を守れる軽井沢であるべき」と反論する場面も見られた。

併せて、2018年に自然景観会議が提出した5500余名の皆伐反対署名に対する町の姿勢についての質問書も提出し、皆伐が減らない理由の説明を求めた。



町長に宣言を手渡す、軽井沢別荘団体連合会の小林徹会長(左)。

## 上田市のハルタ、本社を移転へ 長年放置の建物を改修

北欧家具・雑貨の販売、建築設計などを手がける上田市のハルタが、国道18号沿い、旧ドライブイン軽井沢の建物を取得し本社を移転する。2～5月に第一期改修工事を行い、5月初旬から段階的に移転を進める計画だ。関

係者によると、この建物は10年以上、使われない状態が続いていた。土地面積は12,847㎡、建物は2階建てで、延べ床面積2,700㎡。施設内にオフィスのほか、パン工房、家具の工房・倉庫・ショールーム、100㎡のコワーキングスペースを設置する。同社と親和性のある、飲食や物販のテナント6区画(36～

70㎡)も募集。中軽井沢のパン店ハルタ軽井沢は営業を継続する。今後は住宅事業により力を入れ、新オフィスを起点に北欧の住宅性能を広く発信していく考えだ。同社の徳武睦裕社長は「北欧から学び着想したことをベースに事業をしているので、軽井沢との相性は良いと思う」と話している。



長く使われないままだった、旧ドライブインの建物。

## 軽井沢で安心のリフォーム店をお探しの皆様へ

※住宅リフォーム補助金が支給されています。詳しくはお問合せください。

### 三井のリフォーム5つの約束

1. お客様のご要望をすべてお聞きします。
2. 資格の無い監督には任せません。
3. 追加工事はお客様のご確認いただいた後で。
4. 価格以上の満足をご提供します。
5. 今まで過ごされた思い出を大切にします。

リビング・ダイニング 寝室・和室・書斎 洗面・トイレ  
キッチン・浴室 外観・エクステリア 水漏れ・雨漏り

あなた様のご予算に合わせてご提案させていただきます。

軽井沢町 住宅リフォーム補助金 対象企業

三井不動産グループ 三井のリフォーム 軽井沢店  
〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢1323-42 (営業時間) 9:00~18:00

見積り無料!! 悩んでいないで、まずはお電話ください!!  
(0120) 278-321



全国第1位の社長表彰をいただきました。



WEBで検索! 三井のリフォーム軽井沢店 検索

www.karuizawa-reform.com  
メール karuizawa@mitsui-reform.com

## 床下エアコンの暖かい家



床下から温めるので、家の「すみずみ」まで暖かく温度差がありません。特にトイレや洗面脱衣室も足元からポカポカ。ぜひ、体感してください。

暖かいモデルハウスをぜひ、ご体感くださいね!



ご予約はこちら 大井建設ホームページ  
http://www.kosodate-oen.com

0120-33-4152

メールの方はvip@ooi-kensetsu.co.jp

大井建設工業

子育て世代の安くていい家 専門店 株式会社  
■本社/御代田町馬瀬口1670-74